号外

速中タイムズ

2024（令和６年）
10/5　土曜日

令和６年度 富山県中学校駅伝競走大会

男子優勝・女子2位と大活躍

男子の優勝は16年ぶり３回目

富山県中学校駅伝競走大会（男子41回、女子33回）が５日、富山県総合運動公園陸上競技場クロスカントリーコースで開催され、男子の部（参加数58校・団体）で速星中学校が16年ぶり３度目の優勝を果たした。また、女子の部（参加数49校・団体）でも２位になるなど、本校駅伝部が大活躍した。

男子の部では、各校のエースが集う１区で新村（33H）が区間４位の好走。２区の土師（35H）は安定した走りで前を走る富山西部中、山室中、平中を抜き去り、全体順位を１位とし て３区の舟木（35H）にタスキリレー。舟木は土師と共に、昨年の同大会からチームを支えてきたダブルエースの１人。落ち着いた走りで２位との差を広げた。４区の山﨑（32H）は区間１位の激走で２位との差をさらに広げた。５区の内藤（33H）と６区でアンカーの奥野（33H）がともに区間４位の走りで後続を寄せ付けず、１時間00分02秒のタイムでゴールテープを切った。なお、土師は男子の部で最優秀選手に選出された。

女子の部では、１区の此川（32H）が３kmを粘り強く走り２位という好位置で競技場に戻ってきた。２区の神原（14H）、３区の北川（12H）は共に１年生ながら区間２位の好走で全体順位を２位でキープ。４区の柴田（39H）も区間２位の走りで３位との差を広げた。全体順位が２位でタスキを受けた５区でアンカーの奥井（32H）は３kmを粘り強く走り切り、42分59秒の２位でゴールした。

また、友好の部の男子に、青木（39H）、杉浦（33H）、浅井（32H）、女子に、小林（33H）中川千那（23H）、中川千理（23H）、の６名が出場し、青木が１位、浅井と中川千理が３位となり、本校駅伝部の層の厚さを見せつけた。

男子は、12月15日に滋賀県で開催される第32回全国中学校駅伝大会の出場権を得た。また、男女とも11月30日に長野県で開催される第18回北信越中学校駅伝競走大会の出場権を得た。

駅伝部男子監督の宮脇教諭は「男女とも力は出し切ってくれた。上位大会への出場権を得たので、今大会での修正点を今後の練習の課題としたい。とにかく、選手やスタッフは、今日まで本当によく頑張ってくれた」と選手たちをねぎらった。また、同部女子監督の野村祐太教諭は「選手には『自己ベストの走り』に集中するよう声をかけてきた。今日は本当によく頑張ってくれたと思う。たくさん褒めてあげたい」と今大会を振り返った。